

夢をかなえるために 学んだことを 自分の言葉で 語る子どもを育てる

学校教育目標

「夢もち たくましく」

心を磨き
知性を高め
身体を鍛え
共に生きん北広島市立
東部中学校

ひろがり

小学校6年生、分散で中学校見学

～保護者には新入生説明会～

2月1日～4日、4月に入学予定の東部小6年生、北の台小6年生が来校し、校舎・授業見学を、2月8日には新入生の保護者に対して説明会を実施しました。例年であれば、この時期に児童・保護者が一堂に会した新入生説明会を開催するところなのですが、コロナ禍の感染対策でこのような対応となりました。



小学生は密にならないように1日1クラスずつ来校し、1グループ3～4人で、1・2年生の授業を時間割を見ながら1時間自由に見学していました。今年度は部活動見学・体験や学校祭が中止になるなど、中学校に入る機会がなかったこともあり、校舎・中学校の授業・先輩の雰囲気などを興味深く見学していました。中学校の印象はどうでしたか？と話しかけてみると、「校舎がきれい」「勉強が難しそう」「靴がみんな同じで驚いた」と実際に見学することによって感じたこともあったようでした。中学生も体育の器械体操で前方転回やバック転を披露したり、他の授業でも真剣に取り組む姿があるなど、お互いにとって刺激のある良い機会となりました。



保護者説明会には、約90名が来校しました。学校長からは「小学校と中学校では同じような活動をしますが、中学校は卒業とともに義務教育も終了しますので、より社会との関わりを深く考えることが求められます。3年後の高校入試だけではなく、将来の生き方や具体的な姿をイメージする必要があります」とお話ししました。その後、佐々木教務部長が学習面、二ツ谷指導部長が生活面についての説明をしました。また、厚別警察署少年係の方にも来校いただき、携帯電話のフィルタリングについての説明があるなど、携帯・ネットトラブルに関する啓発をしていただきました。

